

6月8 - 12日週のNZドル円レビュー

June 15, 2009

上昇、金利据え置きも後押し

High : 63.40 円 Low : 60.41 円

Close : 63.29 円

NZ ドル円は上昇。週初はアイルランドの格下げに絡んだリスク回避の動きから 60 円半ばまで下落。ただ、その後は日経平均が 1 万円台を回復するなど株価の底堅さを受けたリスク選好の動きが盛り返し 63 円前半まで戻した。

6/8 (月) 61.10 円

下落。ダウ先物や原油先物が軟調となったほか、米格付け機関 S&P によるアイルランドの格付け引き下げでリスク回避傾向が強まり一時 60.65 円まで下落。しかし、米株が底堅い動きとなったことで更なる下押しは回避された。

6/9 (火) 61.08 円

横ばい。方向性が見定め難いなか、利益確定の売りが先行。一時 60.41 円まで下落した。しかし、米ブラックロックによる英パークレイズ BGI の買収に絡む思惑からポンド円が上昇する動きにつられて 61 円半ばまで買い戻された。

6/10 (水) 61.45 円

小幅高。日経平均が 1 万円の大台を回復する場面を見たことで底堅く推移し、一時 62.24 円まで上昇した。ただ、米債の利回り急上昇の影響からドル買いが進んだことで伸び悩むと、61 円半ばまで上昇幅を縮めた。

6/11 (木) 62.80 円

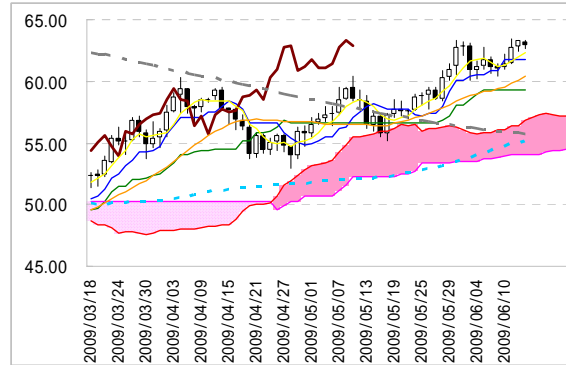
上昇。RBNZ が金利を 2.50% に据え置いたほか、米長期金利の下落や株価の底堅さを受けてドル売りが優勢となったことで、リスク選好の動きが強まった。一時 63.40 円まで上昇。

6/12 (金) 63.29 円

小幅高。日経平均が終値ベースで 1 万円の台を回復したことで底堅く推移したが、G8 開催を控えて様子見ムードは強く、先行き見通しに対する不透明感から伸び悩んだ。

月日	High	Low
6/8 (月)	62.03 円	60.65 円
6/9 (火)	61.47 円	60.41 円
6/10 (水)	62.24 円	60.95 円
6/11 (木)	63.40 円	61.45 円
6/12 (金)	63.33 円	62.43 円

NZドル円の推移



テクニカル短期・中期ポイント

68.02 (週足一目均衡表・雲の上限)

65.00 (心理的節目)

63.33 (6月12日高値)

= 先週末のNYクローズ 63.29 円 =

60.44 (21日移動平均線)

59.31 (日足一目均衡表・基準線)

NZの重要指標結果

6/11 (木) [結果] (前回)

RBNZ 政策金利 [2.50% で据え置き] (50bp の利下げで 2.50% に)

ポラード RBNZ 総裁「経済は年末に向けて拡大開始と予想」、「政策金利は若干低下する可能性」、「NZ ドル安と輸出増で景気回復が刺激されるように望む」

6/12 (金) [結果] (前回)

4月小売売上高指数 [+0.5%] (-0.2%)

4月小売売上高指数(除自動車) [-0.1%] (+0.5%)

アウトルック ダイジェスト版

レンジ : 59.00 - 65.00 円

底堅さは維持するが、上値は限定的か。昨年 9 月のリーマンショック以前の水準を他通貨が徐々に回復する中、NZ ドルは一步出遅れ感がある。これを、同通貨の更なる上昇余地と見る向きもあるが、一方で、隣国との金利差を考慮すれば、自然の流れとの意見も。また、ポラード NZ 準備銀行総裁は自国通貨高に対して懸念を示しており、今後も当局者からの牽制等は警戒する必要がある。従って、大きくレンジの下抜けは想定されないが、大幅上昇の期待もしづらいだろう。